



新年会盛大に開催 —— 参加者67名 ——

新年度スタートのイベントである新年会が1月22日（日）午後5時より昨年と同じ「サンパルネ・コンベンションホール」で開催されました。会は當摩彰子副会長の司会で始まり、まず小亀会長から、稲門会設立の原点を踏まえ、今年も皆さんと楽しい会を作って行きたいとの抱負が述べられました。続いて当会会員の吉村正人間科学部教授からソフトボール部監督として指導した大嶋匠選手がプロ野球日本ハムにドラフトで指名された経緯をお話頂きました。実に多くの早大関係者の努力があったことを知り改めて早稲田の力を感じました。続いて滝川桜子幹事の乾杯で懇親会に入りました。今年も地元給食センターさんのご好意によりたくさんの料理が並べられ、各種飲み物も差し入れの分も含め多く並べられ、懇親の輪が広がりました。国分寺稲門会から青木副会長も参加頂き、また昨年の納涼会にも来られた早稲田祭運営委員会の女子学生3人も参加して頂き、先輩達と会話が弾んでいました。彼女達からはすぐメールが入り、皆様に暖かく迎えて頂き本当に感謝していますとのことでした。

そのあとお楽しみ福引会が行われ、小野幹事の司会で参加女性軍が抽選を行い、当選者が発表されるたびに大きな歓声が上がりました。最後に井垣和太さんのリードで全員で「東村山稲門会の歌」を歌い、その後応援部OBの小森敏孝さんの指揮で校歌「都の西北」を元気で歌い、當間昭治副会長の閉会の挨拶で、楽しかったひとときの幕を閉じました。

なお、お土産として地元「餅萬」さんの東村山稲門会名入りのどら焼きを参加者全員にお渡ししました。
(参加者／敬称略)

青山稔、赤荻洋一、阿部茂、井垣和太、石井久長、一色泰久、上原正行、江藤昌明、大内一男、大森平八郎、岡田一郎、小野智、加藤正俊、木谷肇、木谷夫人、久世利夫、倉田哲也、倉田夫人、紅松喬、幸田瑞雄、小亀輝雄、小亀夫人、小菅宏、小菅夫人、小林傳、小森敏孝、佐久間厚、佐々木昌敏、迫田実、高橋鶴次郎、高橋正夫、高鷺近、滝川桜子、田口政澄、武井勇治、月森通夫、土橋雄次、當摩彰子、當間昭治、當間夫人、戸田志郎、豊田友吉、内藤慎、長井治、南湖修一、額田伊久夫、野田直、野田夫人、野中昭夫、樋地正秀、福田昇七、福田夫人、藤澤博恭、堀田秀夫、松永常尚、丸本聡明、三宅良太、森本吏、守屋幸一郎、八木正晴、山本岩男、吉田勝、吉村正、青木荘司（国分寺稲門会）田辺理彩、露崎瑞樹、河口みなみ（早稲田祭運営委員学生）

以上67名

なお、赤荻、大内、小野、風間、當間、當摩、長井、福田、小亀さんより飲み物、福引賞品等のご寄付を頂きました。有難うございました。





○ 平成24年3月 定例役員会

日時： 平成24年3月10日（土）13:00～16:00
場所： ふるさと歴史館・研修室

○ 3月、4月合同お誕生会 （担当幹事 滝川桜子 ☎ 394-8187）

日時： 3月10日（土）17:00～19:00
場所： 割烹「丸藤」久米川駅南口から徒歩1分
電話 042-395-5646
会費： 3,000円

3月、4月生まれの方は、このお誕生会へご参加ください。お待ちしております。（2か月合同のお誕生会開催となりますため、4月お誕生の方もこの3月10日にお誕生会の実施となりますので、お間違えのないようご注意ください。）

尚、誕生月ではないが誕生月の方をご一緒にお祝いして下さる方のご参加も歓迎いたします。また誕生月該当者の方で、下記されていない方は担当幹事までご連絡ください。

☆ 3月度お誕生の方々（敬称略 18名）

飯村和子、井垣和太、遠藤 誠、大野恵子、岡部幹郎、大森平八郎、窪田淳治、紅松容子、肥沼恒夫、杉山 信、鈴木国夫、関 一誠、高柳 剛、田代光一、豊田友吉、山崎光夫、山室 勲、松井 淳

☆ 4月度お誕生の方々（敬称略 21名）

石井久長、金城寛文、久世利夫、小菅 宏、小林裕子、重久和彦、高橋文子、滝川正義、武井勇治、土橋雄次、當間昭治、中村皓一、中村真弓、成田延雄、額田伊久夫、松澤 宏、森川節子、八木勝利、吉高太郎、吉澤 勇、山村真理子

☆☆大学関連ニュース☆☆

「Waseda Vision 150」の策定

早稲田大学は、創立150周年を見据えた大学の中長期計画「Waseda Vision 150」の策定を進めていますが、その背景や趣旨について鎌田総長からお考えが発表されました。内容については同封のパンフレットをご覧ください。

☆☆東日本大震災関連のニュース☆☆

ブックレット（震災後に考える）シリーズの刊行を開始

大学では、震災後から多くの教員が現地入りして各種調査や支援活動を開始。5月には「東日本大震災復興研究拠点」を設立して、中長期のプロジェクトによる研究・支援活動を進めています。このたび、これらのさまざまな研究・支援プロジェクトを通じて得た知見・思索・活動を広く社会に提供し、その一助に資するため、『早稲田大学ブックレット「震災後」に考える』を刊行。11月28日、第1回配本（三冊）が書店に並びました。是非ご愛読ください。

被災した2012年度早稲田大学入学志願者の入学検定料免除

大学では、入学を希望する受験生が震災等の影響により受験を断念することがないように、入学検定料免除、入学金、学費等の減免や入試出願前に採用の決まる給付奨学金など、さまざまな支援策を用意しています。入学検定料は可否に関わらず受験するすべての学部・研究科などについて免除します。

☆☆芸術学校が創立100周年☆☆

早稲田大学芸術学校が創立100周年を迎え、11月4日記念祝賀会が開催されました。

機械・電気・建築・採鉱冶金の4科で1911年に創立された早稲田工手学校以来、時代の変化に合わせた幾多の変遷を経て、2001年に芸術学校と校名を変更。現在は、建築・建築都市設計の2学科で、著名建築家を講師に、真のプロフェッショナルを育成する国際的AAスクール（Art & Architecture）を目指しています。

1月・2月合同「お誕生会」報告



担当幹事：滝川桜子 ☎ 394-8187

1月、2月合同お誕生会は、1月14日（土）午後5時からいつもどおり久米川駅前「割烹丸藤」で開催され、お誕生者14名と、お誕生者を祝う役員等の方々も含め総勢31名の出席で盛会だった。

会は、小亀会長の挨拶に続き、當間昭治副会長の乾杯の音頭で開会となり、しばし歓談しながら當摩彰子副会長からの差し入れの美酒も味わった。その後会長からバースデYPREZENTが手渡された後、誕生日を迎えられた方々からスピーチを頂いた。今回は、参加者がいつもより幅広い年齢層に渡っていた。そのため「前の方のご活躍の時代には、私は、影も形も存在していませんでした」などとの表現も出てそれぞれの方が、現役のご様子、退職後を歩み始めたご様子、老後をご自分なりに有意義に過ごされているご様子などのスピーチがなされた。お誕生者は、ご自分の今を屈託なく語られ、参加者各人は、ご自分の今や昔を振り返り聞き、親しみや懐かしさや時代の変化など、各人それぞれの思いを抱きながら楽しい和やかな交流がなされた。

出席のお誕生者は、1月誕生者6名、2月誕生者8名だったが、最長老は、佐久間厚さん（昭25法）で20年代は他2名で、飯塚輝夫さん（28理）、内藤慎さん（28商）。30年代は6名、小野智さん（30政経）、倉田哲也さん（36理）、高橋鶴次郎さん（38理）、高橋正夫さん（35政経）、田島隆夫さん（37法）、吉澤雅子さん（38文）、40年代は、岡田一郎さん（40商）、細山和男さん（48文）、尾島敏雄さん（49商）、さらに50年代2名、小林俊治さん（53社会）、原田道昭さん（53理院）の方々だった。

赤荻さんのいつものお誕生者のスピーチ中の写真撮りのご奮闘に加え、最後の恒例の月ごとの参加者の方々の集合写真撮影の後、井垣さんのリードのもと、東村山稲門会の歌、校歌を声高らかに斉唱した。さらに東北大震災も10カ月が過ぎようとしているのに、今なお御苦労な生活をなさっている方々を忍び、被災地の日も早い復興と元の美しい自然が戻ることを願いながら故郷（ふるさと）を合唱して、當摩彰子副会長の締めめの挨拶でお開きになった。

お誕生会に出席なさった倉田哲也さんからご感想文を頂いたので、以下に記載した。

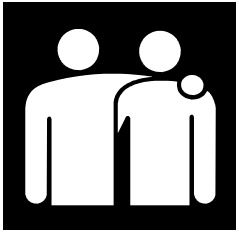
「1、2月お誕生会に参加して」

倉田 哲也（S36理工）

今年も元気に東村山稲門会のお誕生会に出席できました。毎回先輩や同期、後輩の方々の貴重な経験談、健康法など聞かせて頂き楽しみにして居ります。私は昭和36年に理工学部を卒業後、今年で51年を迎え1月3日で満73歳になりました。この間で昨年の東日本大震災、津波、福島第一原子力発電所の事故程悲しい思いをした事は有りません。特に原子力発電所の事故は原子力プラントを納入した重電メーカーに勤務した技術者の一人として、長期にわたる放射能汚染事故をどうして防止出来なかったのか残念でなりません。昨年11月の総会で早稲田大学常務理事 内田勝一氏のご挨拶の中で大震災後、大学では学生に次の3点を教えていると話されました。

1. 想定外と言うことは現在の科学で防げる 2. 情報の発信は正しく素早く 3. リーダーシップの発揮。この内容を昨年末、元勤務先OB会の乾杯挨拶で紹介しましたら、後程皆さんから「早稲田大学は立派だね」、更に「そのような情報が入る東村山稲門会が羨ましい」とも言われました。あらためて東村山稲門会員の有難さを感じました。

今年は小亀会長のご挨拶でお聞きした健康の5ヶ条、1読、10笑、100吸、1,000字、10,000歩を1日にどれだけ出来るかチャレンジしたいと思います。また当稲門会には沢山の同好会が有りますので楽しい仲間との出会いを求めて、今年こそどこかに参加したいと思っています。



多謝台湾的朋友

滝川正義 (S 4 0 商)

震災の翌日、台湾から IDD call がかかってきた。“大丈夫か？” アセントのある日本語だった。すぐに夏門に大工場を建てた朋友：吳天怒先生と判った。私は1978年から2つの工場を立ち上げる project を推進したため、56 回も台湾へ行き、延べ 2000 人を超える方々と仕事、食事、ゴルフ、カラオケ等で交流してきたので台湾を身近に感じ紹介したい。

先の東日本大震災に際し台湾から 180 億円を超える義援金と大量の支援物資が寄せられた。（これは韓国の 5 倍、人口比では 10 倍以上）台湾の人々は親日家を超え心から日本を愛する愛日家の証である。1895 年から 50 年間日本が統治した時、日本政府は国家予算の 1/6 相当額を台湾へ投資し同時にやる気のある若手官僚を派遣、後藤新平はインフラ整備、鉄道、病院の建設に取り組み八田与一は台南の農地に農業用灌漑用水路網を構築して今日の豊かな穀倉地帯の基を築いた。（ヨーロッパ諸国が植民地から資源、財宝を本国へ持ち帰ったのとは対照的）台湾の皆さんは現在豊かな食糧に恵まれ、各地のインフラが整っているのは日本のおかげと理解している。

1. 仕事：台湾の企業経営のトップ：董事長はサラリーマン社長ではなく小規模ながらオーナー社長ばかりで自己資金及び自ら RISK を負って経営に取り組んでいる。息子は父親の事業を抵抗なく継いでいく。父は息子が安心できるような事業の安定、発展に努力し息子は時代の変化をみて新企画を打ち出したりと家族愛が素晴らしい。廖宗和董事長の 1 人娘：麗君小姐が私が薦めた早大国際教養学部に入學、将来親の事業（食品包装材）を継ぐ由、楽しみなり。

2. 食事：台湾料理は湖南料理同様おいしく、特に家庭料理（鳥がらスープおかゆ、味付き大根入りオムレツ、醤油味の蒸し魚、豚肉と空芯菜炒め）や一ロラーメン、GAVA ジュースもいける。＜金玉満堂＞＜利園＞、和食では＜肥前屋＞のうな重。

3. ゴルフ：全島に 20 以上コースあるが半日で 1R play を楽しめる。（ハーフ休憩は 10 分のコーヒーブレイク）費用はメンバーのゲスト扱いで@7,000 円位。私が毎回 play したスケジュール： 早朝 6:30 ホテル発→7 時林口 cc 着→7:20 スタート→11:20 1R 終了→シャワー&ランチ→13 時ゴルフ場発→14 時桃園空港着→15:30 台北発→成田へ。（林口、信詮: par 6 のホール有、第一 44,42 お勧め）

4. 夜のエンタメ：Dinner: pm 7~9 時、ナイトクラブ：9:30 ~ 11:30、屋台：12 時、マッサージ：12 ~ am 1 時、ホテルへ am 1:30 戻る。＜詩＞＜唱流＞＜GREEN＞の心心ママには台湾社会のもてなしルルを伝授されボトルキープ。カラオケも盛んで日本に比べ部屋が豪華で広く、日本の歌全て揃っている。桃色吐息を熱唱。

5. 観光：故宮博物院の白玉魚挿（登竜門の始まり）、伯定盃など無数の国宝、古都:台南も素晴らしい、奇美博物館、度小月本店。

6. ホテル：日航、REGENT など高級ホテルあるが、お勧めは大理石造りの＜円山飯店＞、日本人客のいない＜福華飯店＞

7. 土産：中華工芸館で水墨画、掛け軸、民芸品、高山茶、月餅、オーダー Y シャツ 3 枚 10,000 円
政府間の交流が無い状態であり、せめて民間ベースで相互交流、理解、絆を深めたいものです。現地へ出かけた時は台湾の方々と日本語で交流願ひ、朝食前に公園に行けば健康体操に参加できる。

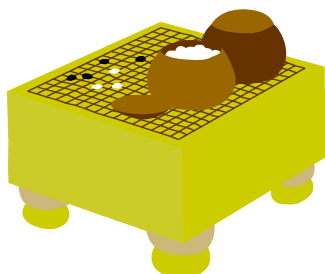
参考：台湾の漢字 汽車=自動車、棒球=野球、全家商店=コンビニ
中西薬局=（漢方薬と medicine の両方を扱う薬局）

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

囲碁同好会

世話人 福田 晃 近 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●2月の「例会」の日程変更……前回の『稲門会ニュース第178号』では、2月の例会を「2月18(土)を予定」としておりましたが、会場の都合で下記に変更します。お間違えのないようお願いいたします。

日 時 … 平成24年2月25(土) 午後1時開始
場 所 … 市民センター別館 第6会議室

○囲碁同好会では、隔月開催の技量向上と懇親を目的とした「例会」のほかに、春と秋の年2回の「囲碁大会」を開催しています。最近では、ややマンネリ化しているのではとの声も聞かれます。囲碁同好会の活性化を図るためにも、ぜひ皆様のご意見をお聞きしたいと思っております。世話人までご教示いただければ幸いです。

音楽同好会（稲穂会）

世話人 高橋 文子 TEL 393-2676



音楽同好会（稲穂会）第30回例会

12月15日(木) 世話役の高橋文子さんと滝川桜子さんが用意した盛り合わせの大皿や女性参加者が持ち寄って頂いた料理の数々、外国産のワイン、男性会員差し入れの日本酒・ビールがテーブルに並べられ、高橋リーダーの乾杯の音頭ももどかしげに開会されました。出席者は新顔の方もふくめて19名。宴もたけなわになった頃これではならじと、稲穂会演奏者が立ち上がり、ピアノの高橋リーダー、ウクレレの富塚哲夫さん、オカリナの市川彰彦さん、ハーモニカの井手の演奏で例会が始まりました。演奏した曲は季節に合わせて「冬景色」「冬の旅」「雪の降る街を」等のほかクリスマスに因んで「星の界(よ)」「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」。更に第九の「喜びの歌」を全員で熱唱。そのあと井手のハーモニカ伴奏で「青い山脈」等歌謡曲を歌い、木谷元幹事長の熱唱に全員が感動しました。続いて富塚さんのウクレレ伴奏で「カイマナヒラ」、市川さんのオカリナ伴奏で「あわてん坊のサンタクロース」、さらにドイツ文学者の重原さんが「野ばら」をドイツ語で歌い、ヤンヤの喝采を浴びた後、江藤さんが幼き日の思い出から「青葉の笛」を感慨深く歌われました。その後楽しい歓談が続き、いつ果てるとも知れぬ盛り上がりを見せた忘年音楽会でした。

出席者(敬称略) 市川(彰)、江藤、小亀夫妻、木谷夫妻、小林(伝)、重原、高橋(正)夫妻、高鷲、滝川夫妻、富塚、福田(昇)、吉沢夫妻、高橋(文)、井手

(井手記)

カラオケ同好会

世話人 内 藤 慎 TEL 393-5071



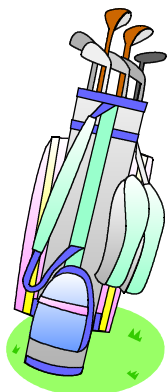
1月例会は1月14日開催。寒さ厳しき折から体調を崩し参加者は4名と少なく寂しい集まりでは有りましたが、参加者の熱の入った歌で大いに盛り上がりました。どうぞ気軽にご参加をお待ち致します。

〈今後の予定〉

2月 4日(土) 19:10より カラオケランド ズー
3月10日(土) 19:10より カラオケランド ズー

ゴルフ同好会

世話人 石川 武 TEL 394-4702



昨年12月16日(金)、内藤・相馬・堀田・紅松(喬)・井垣の5人の会員を含め、有志8人による、名門「飯能ゴルフクラブ」での年末ラウンドを打ち収めとしたゴルフ同好会も、野山に若芽の息吹が聞こえるようになると、いよいよ本格的活動シーズン到来の思い一入となってきました。

◆ 第31回同好会コンペ 多くの会員のご参加を!!!

第31回コンペを、我々がホームコース「西武園ゴルフコース」で行います。天狗の鼻をさらに伸ばしたい貴方、これから農耕文化を始めようとお考えのあなた、新しい友と巡り合いたいと思っていられしやる貴殿! 是非、ご参加下さい。お待ちしております。

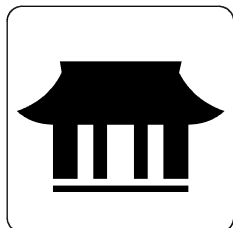
- 日時 : 平成24年3月23日(金) 7時45分～
- 場所 : 西武園ゴルフコース(アウト スタート)
- 費用(概算) : 会費・プレー代等併せ 約2万円
- 申込先 : 石川 武 自宅電話・FAX 042-394-4702
携帯電話 090-2320-8171
携帯メール issy-tk@docomo.ne.jp

* 日中は留守をしておりますので、なるべく携帯メールをお願いします。

- 申込期限 : 平成24年3月3日(土)

郷土史の会

世話人 江藤 昌明 TEL 391-4076
伊藤 友己 398-1352



今年最初の郷土史の会を3月4日(日)に行いたいと思います。昨年は狭山山不動寺を訪ねましたが、今年は武蔵国分寺です。最近NHKの「ブラタモリ」でも紹介されましたが、昨年からの繋がりでも武蔵国分寺の姿を見て頂きたいと思います。

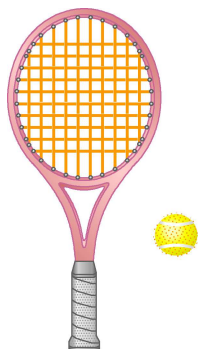
国分寺、国分尼寺の跡を散策して、午前中に解散致します。午後、よろしければ西国分寺の東山道武蔵道の遺構を見てみたいと思います。昨年からの一連の企画になりますが、初めての方でも「ブラタモリ」に紹介された場所を実際に目で見たい方にお勧めします。

記

集合場所 : 国分寺駅改札口
日 時 : 3月4日(日)
時 間 : 9時30分
解散予定 : 12時
オプション : 昼食後東山道武蔵道の遺構を尋ねます。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



1月の例会は、1月15日(日) 13時～15時 久米川コート 3番にて行われた。例年だと、コートが霜で使えなくなることもあるが、今年は乾燥しているので、比較的良い状態である。6名の参加者は、多少寒いが晴天の下で、十分に初打ちを楽しむことができた。

ただ今年は寒さが厳しいせいか、風邪や腰痛、肩痛などの人が多く、新年にしてはやや寂しい例会であった。

今年は野田コーチのもとに技量の向上に励み、秋の合宿でその成果を競い合えればと思っているので、病気や怪我の人たちにも早くコートに戻ってきてほしいと願っている。

1月22日の予備日にも有志で練習を行うことになった。
参加者(敬称略) 市川晴、當間、野田夫妻、野村、田島

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第60回は2月25日（土） 午後2時から「丸藤」で開催します。
俳句同好会「稲酔」俳句会の11年目に入る節目の句会です。

兼題は「二月」です。

二月は、俳句の歳時記では「春」の季語に分類されます。現代の感覚では冬の最も寒い時期で、春はまだまだ先のことと思いますが、正月を「春」と言った陰暦の時代では、節分を過ぎればもう春の到来で、見るもの、聴くもの、全てが新しい生命の息吹を感じる季節として捉えられています。

とは言っても、「衣更着」と書くように、冴え返って衣を更に重ねて着る月でもあり（誤解との説有り）、「如月」、「雪解月」、「梅見月」など、異なった呼び方はいろいろあります。

貴方にとっては「二月」はどんな感動を覚える季節でしょうか。

木の間出る人に二月の光かな
二月の蠅薔薇にゐて憚らず
きさらぎの日数少なし川あらし

虚子
裸馬
淡淡

（稲雀 記）



古き友 新しき友 そして

石川 武（S49文）

第1の職場を退いてから、仕事を通じて出来た友人からの賀状が、段々少なくなってきました。“去る者、日々に疎し”。日常の接触が薄くなるに従い、賀状のやり取りも少なくなるのは、世の常。

しかし、仕事を通じての仲間に、その傾向が強いのは、仕事の間を生活のメイン・グラウンドにしてきた私にとっては、些か寂しい限り。

◆“付き合いの場”を細らせない

嘆いていても、仕方のないこと。この数年は、暇を見つけては、かつての仲間との交流に努めております。敬して遠ざけていた強面上司。こんな新人類、面倒見切れねえやと嘆いた部下。夫々に呼び掛けると、多くのひとが呼びかけに応じて、集まってくれる。未だまだ、昔の椅子の関係は完全に払拭出来た訳では無いけれど、“あなた、そんなに洒脱だったんだ！”“そんな事を始めたの！”かつての仲間の新たな一面を発見することもしばしば。

仕事で苦楽を共にした仲間と席を同じく、杯を酌み交わすことは楽しい限り。長く付き合い合っていきたいもの。

◆“新しい関係”を拓く

“酒を飲んでいるばかりじゃ詰まらねえや！”殊勝な気持ちで、一念発起。教わる側に席を占めたのは良いけど、“何を言っているのかサッパリ解らねえ！予習やったのに、全く覚えていねえよ！”

勉強は、落ちこぼれ気味ですが、私の初歩的疑問に丁寧に答えてくれる若い先生。自ら考えた論旨を熱心に説いてくれるズット若い学生。彼らと関わることで、未知の世界が段々拓けてきます。そして何よりも、全く違う世界に、新しき仲間が出来ました。

かつての職場の友は、努力しても増えることはないでしょう。しかし、それを補う新しい仲間。新しく拓かれた関係も、永く続けて行ければと願っております。

◆やっぱり“連れ合い”か

それにしても還暦を過ぎて、日曜日は妻と時を過ごすことが増えましたなあ。シルバー割引を利用しての映画館・美術館通い、ウォーキングを兼ねた温泉巡り、家事を手抜くための外食。暫く前までは、妻と共に過ごすなど“想定外！信じられな〜い！”

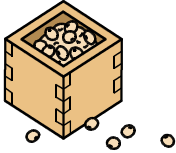
今のところ、毎日通勤はしていても、責任がずっと軽くなった仕事。家庭という器は変わらねど、脛かじりが独立して2人だけになった家族。そんな中で、一緒の時間が増えたのがわが女房。今までは、共通の趣味を作るなど、夢にも思いませんでした。これから、共通のものを作るなんて、一寸無理でしょう。

しかし皆さん！平均余命を基準にすれば、結構な時間、妻と一緒に過ごすことになりますなあ。かくなるうへは、覚悟を決め、女房という連れ合いと、白秋から玄冬の人生を歩まんと思いつつある今日此の頃であります。

エッツ！そんなこと考えているのは、アッシメだけ？“だいたい、お前の女房はそんなこと考えていないんじゃないか？”ですって！ソナナ〜ア！！

同好会等 短期予定表											
同好会・行事	2月					3月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	—	—	—	—		18	日	*	*		高橋正 042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		4	日	9:30	国分寺駅改札口		江藤 042-391-4076
テニス同好会	12	日	13:00~15:00	運動公園A		4	日	13:00~15:00	久米川コート3		田島 042-396-7676
	25	土	9:00~11:00	運動公園A	予備日	17	土	11:00~13:00	久米川コート3	予備日	
囲碁同好会	25	土	13:00~	市民センター別館		—	—	—	—		高鷺 042-394-2336
カラオケ同好会	4	土	19:10~	カラオケランドズー		10	土	19:10~	カラオケランドズー		内藤 042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		—	—	—	—		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		18	日	13:00~	イトーヨーカドー隣サロン園		小野 042-391-9523
音楽同好会	26	日	13:30~16:00	恩多ふれあいセンター		—	—	—	—		高橋文 042-393-2676
俳句同好会	25	土	14:00~	「丸藤」2F		—	—	—	—		井垣 04- 2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		23	金	7:45~	西武園GC	参加申込み者	石川 042-394-4702
雑学講座	4	土	15:00~16:30	ふるさと歴史館		—	—	—	—		當間 042-391-6023
— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。											

編集局だより



○1年のスタートは1月からですが、占いなどの世界では今でも立春を1年の始まりとしています。今年は2月3日が節分で4日が立春にあたります。暮からお正月にかけて慌ただしく過ごしてしまい、今年のことをじっくり考える暇がありませんでした。「一年の計は元旦にあり」を見送ってしまったので、気を改めて立春から本格的なスタートにすることにしました。これから益々税などの負担は増え、不透明、不確実な時代にどのように対処するのか。ある言葉にヒントがありました。それは「足るを知る」ということです。身の程を知って、むやみに不満を持たない。さらに言えば『足るを知る者は富み、強めて行ふ者は志あり』（老子・「道德経」第三十三章）でしょうか。参考となるのは古典からでした。今年というより今後ずっとこの名言は頼りになりそうです。

○次号の原稿締め切りは2月24日（金）です。よろしく願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

曙に一羽も醒めず浮寝鳥	八木 竜湖
白鳥の声新しき朝の湖	井垣 稻雀
あらたまの池に飛び込む球の音	出田 麦穂
豪雨禍の土手の著けき冬の川	落葉踏み櫟林をゆっくりと
五体みなびり締めまりし寒稽古	菊田 一平
狐火の跳ねる面白さうに飛ぶ	幸田 瑞雄
路地ゆけば路地の愉しさ七日粥	時空超ゆ古刹の庭の冬木の芽
寒行のテレビ視て発つウォーキング	小亀 稻生
喪の年に寒中見舞い嬉しけれ	行く河の流れ留めん日記買う
捨てられしものみな清し浜の冬	市役所へ二度の無駄足日脚伸ぶ
控えめがよろし雑煮と幸せは	リハビリに俄の雪をそつと踏み
時代かな富士もぼんやり大旦	張り詰めし池の氷の広さかな
煩惱の消えぬまま聴く除夜の鐘	故郷は銀の世界よ年新た
広き背に痒みあそべり寒の内	日脚伸ぶ幼き指に黒茶碗